

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公開番号】特開 2007-47571 (P2007-47571A)
 【公開日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-007
 【出願番号】特願 2005-233288 (P2005-233288)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 21/16 (2006.01)

G 0 3 G 15/16 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 4

G 0 3 G 15/16

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 11 月 28 日 (2008.11.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

画像を形成する画像形成手段と、前記画像形成手段によって形成された画像を記録材に転写するための転写ユニットと、装置本体に対して開閉可能に設けられた開閉部材と、を有し、前記転写ユニットは前記画像形成手段に隣接した隣接位置と前記画像形成手段を開放する開放位置とに移動可能である画像形成装置において、

前記開閉部材と前記転写ユニットはそれぞれ、互いに係合する係合部を有し、

前記開閉部材を開く時、それぞれの係合部は係合状態にあり、前記転写ユニットは前記開閉部材と共に移動し前記開放位置に移動し、

前記開閉部材が開かれた状態にある時、それぞれの係合部は非係合状態にあり、前記転写ユニットは前記開閉部材とは関係なく前記隣接位置に移動可能であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記開閉部材は外装カバーの一部であり、前記開閉部材と前記転写ユニットの間に記録材を搬送する搬送手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記転写ユニットは、記録材を担持搬送するベルトを有することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記転写ユニットは、前記画像形成手段によって形成された画像が記録材に転写される前に、その画像を一旦担持するベルトを有することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するため本発明は、画像を形成する画像形成手段と、前記画像形成手段によって形成された画像を記録材に転写するための転写ユニットと、装置本体に対して開閉可能に設けられた開閉部材と、を有し、前記転写ユニットは前記画像形成手段に隣接した隣接位置と前記画像形成手段を開放する開放位置とに移動可能である画像形成装置において、前記開閉部材と前記転写ユニットはそれぞれ、互いに係合する係合部を有し、前記開閉部材を開く時、それぞれの係合部は係合状態にあり、前記転写ユニットは前記開閉部材と共に移動し前記開放位置に移動し、前記開閉部材が開かれた状態にある時、それぞれの係合部は非係合状態にあり、前記転写ユニットは前記開閉部材とは関係なく前記隣接位置に移動可能であることを特徴とするものである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１９】

両面印刷の場合、定着を終えた転写材Ｐは、排紙ローラ対１５に転写材後端が達する直前に排紙ローラ対１５が逆回転し、フラップ２７により切り替わった搬送経路を伝い、転写材Ｐを両面搬送路２８へと送り込む。両面搬送路２８は転写ユニット５０の背面部に形成されており、ドアパネル１８の内面には不図示の通紙ガイドリブや通紙ガイドコロを備える。つまり転写材を搬送する搬送手段である両面搬送路２８は転写ユニット５０とドアパネル１８の間に設けられている。両面搬送路２８には、斜送ローラ対２９が配置され、転写材Ｐを搬送すると同時に不図示の横レジガイド部材に転写材側端部を沿わせて横レジ合わせを行う。最下点のＵターンパス３０を通過した転写材Ｐは、転写部１０へと再給紙され、２面目の画像形成が行われる。